



アイテム しごとと探検隊 22th

アイテムしごと探検隊は「しごとの素晴らしさを伝えたい」という
私たちの思いから始まりました。
実際の職場に足を運び、そこで働く人の話を聞くことを通して、
しごとの大切さ、素晴らしさに出会ったり、
発見できることを願っています。

今回の訪問先 株式会社ガンバ大阪

●隊員紹介(あいうえお順)●

大迫くん(6年生)	川淵くん(6年生)	岸本くん(6年生)	北野さん(6年生)	衣川くん(5年生)
古賀くん(6年生)	近藤くん(5年生)	酒井くん(6年生)	志岐さん(5年生)	長尾くん(5年生)
福島さん(6年生)	藤原さん(6年生)	二見さん(6年生)	二村くん(5年生)	真駆くん(6年生)
森田くん(5年生)	守谷くん(5年生)	山下くん(5年生)		

今回の探検先は…

株式会社ガンバ大阪

吹田市、茨木市、高槻市、豊中市をホームタウンの重点地域とするJクラブ。松下電器産業サッカー部を前身に持つ。ホームスタジアムは「万博記念競技場」、隣接する万博記念公園にはクラブハウスと3つの練習グラウンドがあり、多くのファンが見学に訪れている。地域社会と一体となり、愛されるクラブを目指している。

探検実施日
2012年3月28日(水)

天然芝のグラウンドで 紅白戦を見学

18人の探検隊が今回訪れたのは、ガンバ大阪のクラブハウス。最初に向かった先は、トップチームが紅白戦を行う緑輝くグラウンドだ。青と黒のユニフォームを着た選手たちの走る姿を見るやいなや「すごい」「カッコいいー」の声があがり、華やかなプレーにたちまち釘付けになる。ゴールにシュートが決まると、子どもたちの探検への期待がひととき大きく膨んだ。



クラブハウスでは オフィシャルグッズも開発

ユニフォーム、ボールペンなど、事業本部の板村さんは数々のオフィシャルグッズを企画するアイデアマン。「どんなグッズが喜んでもらえるかを考えて企画し、Jリーグでグッズを開発・販売する会社との打ち合わせを経て、製作会社で商品化していきます」。スクリーンに映し出した図で説明すると、子どもたちは熱心にノートをとる。人気グッズのランキング発表やアニメとのコラボグッズには興味津々。グッズの開発は、ファンをわくわくさせるためにあることを子どもたちは理解していた。



プロサッカーの世界に学ぶ、 夢と感動をつくる仕事。

クラブハウスで ガンバ大阪の活動を知る

クラブには3つの練習グラウンドがあり、誰もが気軽に練習を見学できる。クラブハウス内には、グッズショップをはじめ、選手たちのロッカールームやメディカルルームなども完備されている。続いては、スタジアム建設本部の野呂さんが、ガンバ大阪のフェアプレー精神や社会貢献活動、新スタジアムなどについて話してくれた。



「ガンバ大阪はJリーグを代表するフェアプレーチーム。ピッチの外でフェアプレーに徹することに努め、多くの賞を受賞しています」。子どもたちの規範となり、地元の誇りとなることを目指すガンバ大阪は、地域貢献にも力を入れている。「ホームタウンでの小学校訪問や青少年の啓蒙活動に取り組み、東日本大震災の復興支援では被災地訪問やチャリティーマッチ開催などを通して元氣と勇気を届けています」。

優れたウエアとスパイクが いいパフォーマンスを支える

「ユニフォームにはいろいろな工夫が詰まっています」と教えてくれたのは、ウエアやスパイクを提供する(株)デサントの柿沼さんだ。胸に付いている星の数は優勝の回数を、数字は優勝年数を示す。子どもたちがユニフォームを手にとって観察すると、生地やパターンなど見えないところにも工夫がいっぱいだ。次にスパイクを取り出し、素材や滑り止め加工の違いについて教えてくれた。毎年デザインやポイントの位置を変え、より使いやすいものに進化させていると言う柿沼さんからは、ものづくりへのこだわりが強く伝わってきた。



プロサッカー選手って どんな仕事?

元ガンバ大阪のGKで解説者の本並さんからは選手の仕事について教わった。「プロサッカー選手のイメージは？」の問いに、「有名になれる」と答える子どもたち。本並さんは大きくうなずき、「そのために大切な結果を出すこと。勝てばファンが増え、やる気が出て、日本代表や海外で活躍するチャンスも掴める」と話す。そして、活躍し続けるためには「小さなケガにも注意を払うことが大切」と説く。



○遠藤選手たちが来てくれました

選手とスタッフがつくる 夢と感動を体験

最後にJリーグの伊藤さんが、トロフィーの飾られたエントランスやグッズショップ、練習グラウンドを案内してくれた。芝の長さは、ホームスタジアムの万博記念競技場と同じ、長さ2センチに刈られている。同じ環境で練習することで、ボールの転がり方などにも違和感を覚えず試合に臨めるという。たくさんのお話を学んだ子どもたちは、アイテムに戻って考えや感想を話し合い、発表した。選手とスタッフがつくる夢と感動をつくるために一つになって働く姿が、それぞれ心にしっかりと刻まれたようだ。



感想コーナー

- ガンバ大阪のことや、サッカーで大事なことを知れてよかったです。
- サッカー業界は、工夫や努力がたくさんありました。
- プロサッカー選手は準備が大切だなーと思いました。



株式会社ガンバ大阪 事業本部 竹内一浩さん
今回、初めてのJクラブ訪問として、40クラブの中から「ガンバ大阪」を選んでいただきありがとうございました。講師の方の話や普段立ち入ることのできないクラブハウス内、練習グラウンドの見学など、参加されたお子様には有意義な時間を過ごしていただけたと思います。今回の訪問を機に、「ガンバ大阪」に興味を持ち、ホームゲームに足を運んでいただければ嬉しいです。

●「アイテムしごと探検隊」ご協力のお願い
訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しています。子どもたちが「仕事」について考える機会を一緒に提供していただけませんか?
お問い合わせは アイテムまで ☎0120-938-989